

NEWSLETTER No. 67 ISSN 1340-5578 TŌYŌ ONGAKU GAKKAI KAIHŌ The Society for Research in Asiatic Music May 10, 2006

社団法人 東洋音楽学会 会報 第67号

発行 (社)東洋音楽学会
事務所 〒110-0005 東京都台東区上野3-6-3 三春ビル307号 TEL/FAX 03-3832-5152
●E-mail: LEN03210@nifty.com ●ホームページ: http://www.soc.nii.ac.jp/tog/

目次

| | | | |
|--------------------|---|-------------------------|----|
| 第57回大会のご案内 | 1 | ICTM(国際伝統音楽学会)に関するお知らせ | 3 |
| 第57回大会の研究発表募集 | 1 | 芸術学関連学会連合第1回シンポジウムのお知らせ | 4 |
| 第23回田邊尚雄賞受賞者発表 | 2 | 会員異動 | 4 |
| 第73回通常理事会議決事項のお知らせ | 2 | 図書・資料等の受贈 | 7 |
| 『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ | 2 | 新刊書籍 | 8 |
| 選挙管理委員会からのお知らせ | 2 | 新発売視聴覚資料 | 9 |
| 支部委員の選挙方法が変わりました! | 3 | 編集後記 | 10 |
| 会費納入のお願い | 3 | | |
| 吉川英史先生のご逝去 | 3 | | |

第57回大会のご案内

(社)東洋音楽学会は、平成18年度の大会を以下の通り開催します。どうぞふるってご参加ください。

1. 日時:平成18年10月7日(土)、8日(日)

2. 会場:京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター

(〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6、電話・

FAX番号:075-334-2394、E-mail:tairyu@kcuu.ac.jp)

[交通:JR京都駅正面または阪急京都線桂駅東口よ

り、京阪京都交通バス亀岡方面行「芸大前」下車]

3. 日程:第1日

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ・通常理事会 | 10:00-12:00 |
| ・受付 | 13:00- |
| ・公開講演会および特別公演「黄檗山声明」他 | 14:00-17:00 |
| ・第23回田邊尚雄賞授賞式 | 17:00-17:30 |
| ・懇親会 | 18:00-20:00 |

第2日

- | | |
|------------------|-------------|
| ・研究発表 | 午前中 |
| ・通常総会 | 13:00-14:00 |
| ・フォーラムないしはシンポジウム | 14:00-16:30 |

4. 会費:大会参加費 3,000円(学生 2,000円)

懇親会費 4,000円(学生 2,000円)[予定]

5. 共催:第1日のみ、京都市立芸術大学国際会議共催

上記時間は予定ですので、多少前後することがあります。

第57回大会の研究発表募集

第57回大会における研究発表を、下記の要領で募集します。

多彩な内容の発表を期待いたします。

1. A) 研究発表(口頭発表 20分+質疑応答 10分)

B) フォーラム・シンポジウム等(約150分)

2. 申し込み方法:題目・要旨(1,200字程度)・氏名(フォーラム・シンポジウム等の場合は、代表者名とパネリスト名)・連絡先(住所・電話番号・FAX番号・E-mailアドレス等)・使用希望機材・その他の必要事項を明記の上、書面(電子メールによる送信ないしは郵送)で、大会事務局までお申し込みください。

3. 申し込み締め切り:平成18年6月30日(金)必着

4. 申し込み宛先:

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

京都市立芸術大学 日本伝統音楽研究センター 気付

(社)東洋音楽学会第57回大会実行委員会事務局

電話・FAX番号: 075-334-2394

E-mail: tai ryu@kcu.ac.jp

大会実行委員: 小塩さとみ、吉川周平 (委員長)、
久保田敏子、後藤静夫、田井竜一、竹内有一、藤田隆則、
茂手木潔子

第23回田邊尚雄賞受賞者発表

第23回田邊尚雄賞は、以下のように決定致しました。

[受賞者・受賞対象]

遠藤 徹『平安朝の雅楽 古楽譜による唐楽曲の楽理的研究』
(東京堂出版、2005年発行)

横道 萬里雄『体現芸術としてみた 寺事の構造』(岩波書
店、2005年発行)

[選考経過] 今回推薦された業績10件について、3月19日に開
かれた第23回田邊尚雄賞選考委員会 で慎重に審議し、上記の2
件が選ばれました。授賞式は本学会第57回大会で行われる予
定です。理事会で承認された受賞理由は以下の通りです。

[受賞理由]

『平安朝の雅楽 古楽譜による唐楽曲の楽理的研究』は、平
安朝雅楽における調子を、『三五要録』の検討を通じて、唐
楽と比較しながら、その実態を明らかにした点が画期的な業
績として認められた。

『体現芸術としてみた 寺事の構造』は、日本における仏教
寺院の行事を、体現芸術として捉えて、「寺事」とよび、そ
の構造を明らかにしたものである。すべての宗派の寺事を、
音楽を中心としながら、空間・法具・衣装・役割を含め、周
到に記述し、広く日本文化の中に位置づけることを可能にし
た点が大きな業績であると認められた。

第73回通常理事会議決事項のお知らせ

2006年4月2日 (日) に東京藝術大学音楽学部大会議室で第
73回通常理事会が開催されました。そこで審議された議事と
主な議決事項をお知らせいたします。

(1) 前回理事会 (2005年10月1日) 以降2006年4月2日まで
に申し込みのあった正会員18名、学生会員9名の入会が正式
に承認されました。

(2) 平成18年度研究発表大会および公開講演会の件
本号の関連記事をご覧ください。

(3) 第23回田邊尚雄賞受賞者決定の件
本号の関連記事をご覧ください。

(4) 第24回田邊尚雄賞選考委員の件
塚原康子、青柳隆志 (以上留任) 小柴はるみ、水野信男、藤
田隆則 (以上新任) の五氏が選任されました。

(5) 次期理事定数および各支部委員定数の件
平成18年度役員選挙における理事定数および各支部委員定数
について、理事定数を15名、東日本支部委員定数を13名、
西日本支部委員定数を9名、沖縄支部委員定数を4名とする
ことが決定されました。なお、次回選挙より理事と支部委員
の兼任はできなくなります。詳しくは本号の関連記事をご覧
下さい。

(6) 参事、会報編集委員委嘱の件
新たに柳澤久美子氏へ参事および会報編集委員の委嘱が承認
されました。

(7) 文科省科研補助金研究成果公開促進費 (公開シンポジ
ウム) について
申請中の平成18年度文科省科研補助金 (研究成果公開促進費)
が採択された場合、加藤富美子理事を中心にして、公開シン
ポジウム「伝統文化の継承と発展・音楽教育の現場から」を、
平成18年度中に実施することが承認されました。

(8) 入会申込書の書式について
すでにホームページ上で公表していますが、2006年4月より
入会のさいに推薦者 (本学会員) の署名は不要となりました。
それにともない新しい入会申込書の書式の検討を行いました。
近日中に新しい書式に切り替える予定です。

『東洋音楽研究』原稿募集のお知らせ

学会機関誌『東洋音楽研究』第72号 (2007年8月刊行予定)
の原稿を募集しています。

投稿を希望される方は、本誌最新号に掲載した「投稿規程」
および学会ホームページに掲載している「投稿の手引き」を
よくお読みの上、ご投稿ください (学会ホームページをご覧
になれない場合は、機関誌編集委員会にご請求ください)。

送付先: 学会事務所 (「機関誌投稿在中」と明記)

締め切り: 2006年12月20日 (水) 必着

(機関誌編集委員会)

選挙管理委員会からのお知らせ

本年は理事、監事および支部委員改選の年にあたります。定款施行細則第13条第4項に「定款に定めるところの役員を通算して8期以上務めた正会員は、選挙の度ごとに本人の希望によりその1期に限ってその被選挙権を休止することができる」とあります。また同第5項に「選挙実施年の9月1日において、満70歳以上の者は、選挙の度ごとに本人の希望によりその1期に限ってその被選挙権を休止することができる」とあります。さらに、支部規程第6条第10項に「理事、監事および支部委員を通算して10期以上務めた正会員については、選挙の度ごとに、本人の書面による申し出によって被選挙権を休止することができる」とあります(ただし、旧制度の支部委員は含みません)。この条件に該当し、かつ休止を希望する正会員は、6月30日(金)までに、東洋音楽学会選挙管理委員会事務局(〒110-8714 東京都台東区上野公園12-8 東京芸術大学音楽学部楽理科 植村研究室気付 fax 050-5525-2522)宛に、書面またはfaxにてお申し出ください(faxの場合は「植村研究室気付」と明記してください)。

また、選挙管理委員会では選挙用会員名簿を作成します。名簿には「正会員の姓名」を記載することになっています。つきましては、『東洋音楽研究』第68号別冊名簿(2003年発行、これが最新の名簿です)の記載事項に変更・訂正のある方で、まだ届けておられない方は、その変更内容を6月30日(金)までに学会事務局宛に、かならず文書(FAX、電子メールも可)によって、ご連絡くださるようお願いいたします。ご連絡のない場合には、現在事務局にある名簿にしたがって記載することになります。

[2006年度選挙管理委員]

植村幸生(副委員長)、柿木吾郎(委員長)、葛西周、金光真理子、前島美保、増野亜子、森田都紀

支部委員の選挙方法が変わりました!

昨年の総会の決定により、このたびの役員選挙から、支部委員と理事は兼任しないことになりました。開票の結果、上位得票者に重複があれば、理事を優先して、支部委員は次点を繰り上げます。

Q. なぜ選出方法を変えたのですか?

理事と支部委員の多くが同じ顔ぶれになったために、一部の役員が負担超過になったり、権限や指揮系統が混乱したりしたからです。

Q 理事と地区委員と同じ名前を書いてはいけないのですか?
投票時には同じ名前があっても構いません。ただし、あなたの票をより生かすためには、重複は多すぎない方がいいでしょう。

Q 理事と地区委員はどう区別して投票したらいいのですか?
制度改革の趣旨から言うと、地区委員には例会をより良く企画・運営してくれる人材が望ましく、理事には学会全体の運営(総務・経理・機関紙・会報など)を任せられる人材が望ましいと思われます。
学会の活性化のため、ぜひ投票権を行使して下さるようお願いいたします。

(文責: 改革検討委員会・金城厚)

会費納入のお願い

2005年度(2005年9月1日~2006年8月31日)までの会費を未納の方に、請求書と振替用紙を同封いたしました。請求書で未納金額をお確かめのうえ、早速お払い込みください。なお、本誌と行き違いに納入された場合は、どうぞご容赦ください。

吉川英史先生のご逝去

去る4月13日、本学会会長を務められ、名誉会員の吉川英史先生が、97歳で逝去されました。4月25日に、千日谷会堂にて、「吉川英史先生お別れの会」が催されました。心より、ご冥福をお祈り申し上げます。なお、今後、機関誌で追悼記事を掲載する予定です。

ICTM 東アジア音楽研究会 第一回研究会 開催のお知らせ

テーマ: 東アジアの音楽と現代性

日程: 2006年8月31日(木)~9月2日(土)

場所: 宜蘭国立伝統芸術センター(台湾)

発表申込み期限: 2006年5月31日

この研究会は、台湾の宜蘭国立伝統芸術センターが主催する2006年アジア太平洋伝統芸術フェスティバルの開催に合わせて、台湾の南華大学の後援により行われる国際会議だ。2005年8月にイギリスのシェフィールドで行われたICTM(国際伝統音楽学会)世界大会において、東アジア音楽研究会(East

Asian Music Study Group) の発足が、本学会の会長、塚田健一氏を含む一部の研究者の間で話し合われた。今回台湾で行われる国際会議は、この研究会の正式な発足(つまりICTM理事会からの承認受諾)へ向けての第一回研究会で、正式名称は「2006年アジア太平洋伝統芸術フェスティバル国際会議(2006 Asian Pacific Traditional Arts Festival: International Conference)」である。

東アジアの研究者は、英語が不得手という理由で国際会議への出席や英語による出版物が比較的少なく、国外の研究者との交流があまり進んでいない。それが、東アジアの音楽学に対する国際的な関心の低さにもつながっている。ICTM東アジア音楽研究会発足の大きな目的の一つは、このような問題を改善すべく、東アジア各国の研究者同士、さらには東アジアとそれ以外の地域の研究者との学問的交流を促進することである。

今回の国際会議では大学院生の発表を特に奨励している。発表者は台湾への交通費のみ自己負担、大会参加費、台湾国内での交通費、および滞在費は大会組織部から支給されるといううれしい特典もついているので、ふるって応募されることを期待する。また本会議は、伝統芸術フェスティバルと抱き合わせで行われるため、大会参加者はフェスティバル側の企画するいろいろなプログラムを楽しむこともでき、実り多く充実した台湾経験を得られことだろう。フェスティバルの詳細については、2006年5月以降、国立伝統芸術センターの音楽民族学センターウェブサイト

(<http://rimh.ncfta.gov.tw>)、あるいは、南華大学(Nanfua University)ウェブサイト(<http://www.nhu.edu.tw>)に掲載されるので、参照されたい。

今回の会議で掲げられている研究発表テーマは以下の通り。

1. 音楽と文化政策
2. 音楽文化、伝承、教育
3. 音楽とグローバル化
4. 音楽とテクノロジー
5. 音楽とマイノリティー
6. 音楽と移住
7. 新しい視点からの研究

会議の主要言語は英語だが、会場によっては同時通訳がつく。各発表者の持ち時間は、発表20分、質疑応答10分。各発表者は、コミュニケーションの効率化のために、事前に英語の発表原稿を作成し、発表当日にコピーを配布することが望まれている。発表希望者は、350語以内の英語の発表要旨を、5月31日までにEメール、FAX、または郵送(5月31日消印有効)で

送付すること。送付先は以下のいずれか。発表者の決定は、6月中旬までに行われる予定。

TSAI Tsan-huang

Fax: +886 (0) 5 242 7164

Email: thtsai@mail.nhu.edu.tw; tsanhuangtsai@yahoo.co.uk

郵送先: Nanhua University, Department of Ethnomusicology, 32 Chung Keng Li, Dalin, Chiayi 622, Taiwan

YUAN Guan-da

Fax: +886-2-2341-5811

Email: bright@rimhs.ncfta.gov.tw

郵送先: Research Institute of Musical Heritage, National Traditional Arts Centre, 26 Hang Chou North Road, Chung Cheng, Taipei 100, Taiwan

なお、発表募集要項(Call for Papers)の英語原文を、4月中旬にICTMの日本人会員に一括送信しました。受信されなかった方、また非会員で本会議に参加を希望される方は、早稲田みな子(minako_waseda@msn.com)までお知らせください。添付ファイルをお送りします。(文責: ICTM東アジア音楽研究会、プログラム委員会委員、早稲田みな子)

藝術学関連学会連合 第1回シンポジウムのお知らせ

日本学術会議法の改定にともなって廃止された藝術学研究連絡委員会(藝研連)に代わって、新たに藝術学関連学会連合が組織されることになりました。本学会も引き続き、新たな組織へ参加します。藝術学関連学会連合は本年6月に正式に発足し、発足にあたって下記の日程でシンポジウムを企画しています。みなさまのご参加をお待ちしています。

藝術の変貌/藝術学の展開

未来に向かって近過去30年をふりかえる

日時: 6月17日(土) 13時~17時(予定)

会場: 日本大学文理学部 百周年記念館・国際会議場(京王線、下高井戸駅あるいは桜上水駅下車、徒歩8分)

シンポジウム・オーガナイザー 佐々木健一氏

パネリスト 前川修氏(美学会) 宮下誠氏(美術史学会)

増田聡氏(日本音楽学会) 渡辺真氏(意匠学会) 外山紀久

子氏(舞踊学会)(予定)

会員異動

住所・所属等に変更ありましたら事務局までご連絡
ください。(機関誌別冊会員名簿とじ込みの変更届用
はがき、またはファクス、E-mail 等でも結構です)

改姓・改名のお届けには、ご希望の表記法をお書き添
えください。(複数表記される場合、どちらを主な表
記にするのか等)

事務局に登録はされても、公表を希望されない情報等
がある場合には、その旨ご明記ください。

図書・資料等の受贈

(2005 年 12 月～2006 年 4 月、到着順)

- 『諸民族の音楽を学ぶ人のために』
櫻井哲男 / 水野信男編 世界思想社
- 『地域研究コンソーシアムニュース』No.2,3
- 『地域研究』第 7 巻第 2 号 地域研究コンソーシアム
- 『楽道』12,1,2,3,4 月号 正派邦楽会
- 『白い国の詩』12 月号, 冬号 東北電力(株)
- 『東方學會報』No.89 (財)東方学会
- 『浜松市楽器博物館だより』No.42 浜松市楽器博物館
- 『口琴のひびく世界』(CD 付)
直川礼緒著 日本口琴協会
- 『日本伝統楽器小辞典』郡司すみ編 エイデル研究所
- 『太鼓歌に耳をかせ カリブの港町の「黒人」文化運
動とベネズエラ民主政治』石橋純著 松籟社
- 『民族楽器バラライカ』ユーラシア・ブックレット No.88
柚木かおり著 東洋書店
- 『近代インドにおける音楽学と芸能の変容』
井上貴子著 青弓社
- 『Bulletin of Vietnamese Institute for Musicology』
No.16 Vietnamese Institute for Musicology
- 『演劇研究センター紀要』VI, VII
早稲田大学 21 世紀 COE プログラム
- 『ぎふ民俗音楽』第 66,67 号 岐阜県民俗音楽学会
- 『音楽学』第 51 巻 2 号
- 『日本音楽学会会報』第 66 号 日本音楽学会
- 『日本伝統音楽演奏家名鑑 2006』
(財)日本伝統文化振興財団

- 『民俗芸能研究』第 40 号 民俗芸能学会
- 『研究紀要』第 12 号
北海道立アイヌ民族文化研究センター
- 『薩摩琵琶詩華集』
- 『薩摩琵琶弾法譜』 中村正己編
- 『平安朝の雅楽 古楽譜による唐楽曲の楽理的研究』
遠藤徹著 東京堂出版

新刊書籍

- 『07年度版 全国版 専門教養 音楽科の実施問題』
協同出版、1,800円
- 『NHK趣味悠々 大正琴で弾く!』
日本放送出版協会編、日本放送出版協会、1,000円
- 『NHK日本の伝統芸能 2006年4月～2007年3月』
日本放送出版協会 編、日本放送出版協会、950円
- 『The flowering spirit Classic teachings on the 世阿弥』
ウィリアム・スコット・ウィルソン、
講談社インタ・ナショナル、2,100円
- 『あなたに伝える 音楽療法のエッセンス 生きたセッション
を体験するために』石村真紀、音楽之友社、2,100円
- 『演劇入門 古典劇と現代劇』渡辺保、放送大学教育振興会、
2,310円
- 『黄金期歌舞伎名優アルバム』松井俊諭編著、二玄社、
7,140円
- 『大江戸歌舞伎はこんなもの』橋本治、筑摩書房、735円
- 『カラー図解 楽器のしくみ』緒方英子、日本実業出版社、
2,000円
- 『仮名手本忠臣蔵 上 通し狂言 国立劇場開場二十周年記
念昭和六十一年度芸術祭協賛公演』開場40周年記念国立劇
場歌舞伎公演記録集10、竹田出雲 (他)、ぴあ、2,500円
- 『歌舞伎36 研究と批評』歌舞伎学会編、歌舞伎学、2,330円
- 『歌舞伎の男たち、女たち 芝居を見る楽しみ』丹羽敬忠、
洋々社、2,520円
- 『歌舞伎ちょっといい話』戸板康二、岩波書店、1,260円
- 『上方芸能と文化 都市と笑いと語りと愛』NHKライブラ
リー-205、木津川計、日本放送出版協会、970円
- 『感覚の近代 声・身体・表象』坪井秀人、
名古屋大学出版会、5,400円
- 『技能音楽1年 中学SKILL & TRY』
新興出版社啓林館、800円
- 『技能音楽2・3年上 中学SKILL & TRY』
新興出版社啓林館、800円

- 『技能音楽 2・3 年下 中学 SKILL & TRY』
新興出版社啓林館、800円
- 『教科書トレーニング 全教科書版 中学音楽 1～3 年』
新興出版社啓林館、960円
- 『近代演劇の来歴 歌舞伎の「一身二生」』神山彰、森話社、
5,460円
- 『近代日本舞踊史』西形節子、演劇出版社、7,999円
- 『金馬のいななき 噺家生活六十五年』三遊亭金馬(4代目)、
朝日新聞社、1,995円
- 『金門五山桐 通し狂言 五幕九場』開場40周年記念国立劇
場歌舞伎公演記録集 7、並木五瓶、ぴあ、2,600円
- 『天衣紛上野初花 通し狂言 五幕十一場』開場40周年記念
国立劇場歌舞伎公演記録集 6、河竹黙阿弥、ぴあ、
2,700円
- 『恋する kabuki とってもおしゃれな歌舞伎ワンダ
ランド』辻和子、実業之日本社、1,470円
- 『国際理解に役立つ民族衣装絵事典 装いの文化をたずねて
みよう』MCDプロジェクト編、PHP研究所、2,800円
- 『古今亭志ん生 落語の神様』、河出書房新社、1,200円
- 『小袖曾我薊色縫 十六夜清心 通し狂言 四幕八場』開場
40周年記念国立劇場歌舞伎公演記録集 8、河竹黙阿弥、
ぴあ、2,600円
- 『古代歌謡と南島歌謡 歌の源泉を求めて』谷川健一、
春風社、2,400円
- 『これからの音楽教育を考える展望と指針』山本文茂、
音楽之友社、2,000円
- 『昭和音楽黄金期 山崎有一郎が語る名人たち』山崎有一郎、
桧書店、2,625円
- 『昭和アンソロジー 日本を元気にした歌』北原照久、ネコ・
パブリッシング、3,333円
- 『新作能紅天女の世界 「ガラスの仮面」より』氷川まりこ、
白泉社、1,400円
- 『図解落語のおはなし ワンポイント・イラストで“笑いのツ
ボ”が一目瞭然!』PHP研究所、PHP研究所、999円
- 『精選日本民俗辞典』福田アジオ(他)編、吉川弘文館、
6,000円
- 『世界の音を訪ねる』久保田麻琴、岩波新書、987円
- 『世界の国歌』国歌研究会編、ワニマガジン社、950円
- 『創造性を育む音楽教育 1』谷中優、2,300円、明治図書出版
- 『ソロモンの歌、一本の木』吉田秀和、講談社文芸文庫、
1,400円
- 『武満徹の音楽』ピーター・パート著、小野光子訳、
音楽之友社、3,800円
- 『誰も知らなかった京都聖地案内 京都人が能楽にこめた秘
密とは』小松和彦、光文社、559円
- 『中国泉州「目連」木偶戯の研究』山本宏子、春秋社、1
9,950円
- 『ドン・ジョヴァンニ音楽的エロスについて』ゼーレン・キ
ルケゴール著、浅井真男訳、白水Uブックス、950円
- 『なつかしい歌謡謡唱歌のほん』横山太郎編著、
自由現代社、2,000円
- 『ナミイうたの日々』明石雄介、冬青社、2,730円
- 『ナミイ! 八重山のおばあの歌物語』姜信子著、
岩波書店、2,000円
- 『日本人を考える 歴史・民俗・文化』宮本常一、
河出書房新社、2,000円
- 『日本伝統楽器小辞典』郡司すみ、エイデル研究所、
15,000円
- 『日本民衆文化の原郷 被差別部落の民俗と芸能』沖浦和光、
文春文庫、571円
- 『能のふるさと散歩 上(京都・奈良編)』岩田彰、
日本放送出版協会、2,940円
- 『華 足立禮子写真集』森田拾史郎、
ピング・ネット・プレス、1,470円
- 『はやり神と民衆宗教 日本を語る3』宮田登、吉川弘文館、
2,730円
- 『比較芸能論 思考する身体』宮尾慈良、彩流社、2,500円
- 『美術史家の音楽回廊』前川誠郎、グラフ社、1,619円
- 『琵琶法師の「平家物語」と能』山下宏明、塙書房8,800円
- 『貧困の民族誌 フィリピン・ダバオ市のサマの生活』
青山和佳、東京大学出版会、7,200円
- 『舞台道具帳』竹内志朗、たる出版、2,500円
- 『舞台裏おもて 歌舞伎・音楽・能・狂言』岩田彰、マ・ル社、
1,890円
- 『武と舞の根源を探る』スポーツ学選書18、瀧元誠樹、
叢文社、2,000円
- 『みる知る歌舞伎』JTBパブリッシング、2,000円
- 『民族楽器バラライカ』ユーラシア・ブックレットNo.88、
柚木かおり、東洋書店、600円
- 『名女形・雀右衛門』渡辺保、新潮社、1,785円
- 『よってたかつて古今亭志ん朝』志ん朝一門、文藝春秋、
1,699円
- 『落語CD&DVD名盤案内』矢野誠一、大和書房 979円
- 『落語 落語が10倍楽しくなる!』PHP研究所、1,260円
- 『琉球の民謡(復刻版)』金井喜久子、音楽之友社、2,520円
- 『ロシア音楽の星チャイコフスキー』さいとうみのる著、
えんどうけんいち画、2,000円、汐文社

- 『ロシア音楽史 カマーリンスカヤ から バービィ・ヤール まで』フランシス・マース 著、森田稔（他）訳、
春秋社、6,000円
- 『ワールドミュージック/世界音楽入門』フィリップV .ポールマン著、柘植元一 訳、音楽之友社、2,200円

新発売視聴覚資料

CD

- 『かざうた』藤原道山、COCQ-84125、2,800円
- 『爆笑！炎の落語3 鈴々舎馬風/春風亭柳昇』COBM-5387、
2,940 円
- 『決定版 五代目 柳家小さん 落語名演集 』COBA-4501～4505、
各3,150円
- 『決定版 五代目 柳家小さん落語名演集 第二期』
COBA-4512～4516、各3,150 円
- 『箏 沢井忠夫作品集』VZCG-578～VZCG-582（CD）、2,100円
- 『立川談志 「ひとり会」落語CD全集 第十一集』
COCJ-33541～33550、各 2,000 円
- 『二胡の世界～サ・バスト・オブ・二胡～』COCQ-84138、
2,500円
- 『爆笑！炎の落語4 林家こん平/桂歌丸』COBM-5388、2,940 円
- 『林家たい平落語集～たい平よくできました3～』COCJ-33640、
2,000 円
- 『ピクチャー落語上方篇』VZCG-333～VZCG-343、各1,575円
- 『山田千里JON-KARA即興 甦る津軽三味線 名人 山田千里の
総て』COBA-4537、2,500 円
- 『山本邦山作品集』VZCG-570～VZCG-577、各 2,100円
- 『落語名演ガイド集（9枚組）』COCJ-33592-600、18,000 円

編集後記

今号は、併送する「東日本支部たより」の都合により、
発行時期を早めました。現行を早めにお寄せ下さった関係
者各位にお礼申し上げます。4月から柳澤久美子さんがあ
らたに参事に加わりました。旧委員ともどもよろしくお願
いいたします。次号は9月初旬発行の予定です。

会報編集委員会

理事：高桑いづみ、野川美穂子、小塩さとみ

委嘱委員：松村智郁子、丹羽幸江

参事：青柳万紀子、金光真理子、佐藤文香、新堀勲乃、前島
美保、柳澤久美子